

墨水会だより

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 泉 妻 秀 一

我が墨水会の会報「墨水会だより」は、昭和60年3月第1号の発行以来本年3月発行の会報を以て第25号の発行に至りようやく4半世紀の道を歩むことが出来た。

同時期に本格的な会員名簿である墨水会名簿(1985年版)発行も同時に行うことが出来た。

会報、名簿共に戦後40年を経過しての発行で、会員(卒業生)の各位には卒業後の母校の様子については近隣に住まいを持っているか、何等かの活動で母校を訪れる機会のある方、あるいは、母校と交流のあった職員の先生方などからしか情報が伝わらず、今の母校の姿や活動が分からずにいると思う。

この昭和60年の年は戦後の母校の現状が初めてOBの諸君に伝達された記念すべき年であったと思う。

母校の存在する墨田区東向島の地は戦後70数年を経た現在もあまり変化なく、前号にも記したように昭和39年に開催された東京五輪を境に大規模な都市計画がなされた東京西部の山手地区と異なり、隅田川以東で変化があったことと言えば、東武鉄道業平橋、押上地区に建設された電波塔で、634米と世界一を誇った東京スカイツリーくらいのものである。

塔が出来て地元は多少活性化されたようであるが、近隣の生活や暮らしにはほとんど影響がないようである。しかし外国人観光客などに全く縁がなかった場所に世界中から訪れる人が増えたことは本所や向島地区の人々にとっては真に喜ばしいことかも知れない。

卒業後母校を訪れる機会がなく、学校を出てから一度も母校を訪れたことが無い方は、今年は是非スカイツリーの展望台に立ち、その後で単位制進学型高校として新校舎も増設され面目一新、すっかり綺麗に衣替えした母校を是非訪問して戴きたいと思う次第である。

今回の表紙写真はそんな意味を込め、北十間川の水路から見たスカイツリーの景観とした。



撮影 井上 常一



ご挨拶

墨水会会長 墨田川 8回

泉妻 秀一

「迎春墨水会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられ新しい年のスタートをきられたこととお慶び申し上げます。平成二十九年一年間で墨水会活動にあらゆる面からご協力を賜り本当に有難う御座いました。

一年の経過が真に早く感じられ、つい先頃会員の皆様に会報二十四号の誌上にてご挨拶致しましたが、以来早くもこの会報二十五号にて皆様に昨年一か年のご報告と御礼を申し上げる時期と成りました。

この一年を顧みますと、世界では、一昨年末の大逆転勝利で誕生した米国トランプ大統領が就任し選挙公約実現を目指した暴走ともとれる発言で世界全体を混乱させ続けていること、一方大問題であったイスラム国の暴走は関連諸国の協調により抑えられて来ましたがその思想に感化された若者によるテロ行為が一向に減らないことが問題となつています。日本に直接関係することとしては北朝鮮が弾道ミサイルを発射、日本上空を通過したこと、それに対応して日本政府はアラート（全国瞬時警報システム）を発令しました。しかし日本国民としてはアラート警報が流されても為す術は無

くただ混乱してしまうことが問題となっております。秋田で実際に警報が流されたがアキシオンを起こしたのは5%に過ぎませんでした。

又、この一年も環境破壊が原因とされる気候変動による台風の巨大化、豪雨、洪水災害による世界各地での大災害の報告が続いています。パリ協定から米国の脱退し世界から非難されています。日本国内では九州北部豪雨で大きな被害が出ました。

又、年間、各分野で嬉しい・悲しい・珍しいニュースが沢山流れ大きな話題になりました。将棋での中学生藤井五段の活躍、桐生選手の前メートル九秒九八、清宮選手の前百一十号、上野動物園でのジャイアントパンダ「シャンシャン」の誕生に興奮し、浅田真央、宮里藍、安室奈美恵の引退を惜しみ、名門企業の相次ぐデータ偽装問題、座間市の九人バラバラ遺体事件、相撲界での暴力沙汰に愕然とさせられた一年でした。

このような世情の中ですが我々の母校・墨田川高校は上村校長のもと都内でも少ない進学指導重視型単位制高校として進めて来た学校改革を着実に進め大きな成果を上げておられます。学校行事で

は四月の入学式に始まり、五月には体育祭、九月には文化祭、十二月は合唱祭、三月には卒業式、七高万博と続きます。これらの学校の催しには墨水会からも役員・幹事が出席し生徒諸君の日頃の活動を拝見しております。また毎年卒業式終了後の三月下旬にかつしかシンフォニーヒルズにて吹奏楽部のスプリングコンサートが開催され卒業部員も参加して、大変賑やかで、素晴らしい演奏会が開かれます。OB各位のご来場をお待ちいたします。また私共墨水会として今後取りくむべき課題は毎回申し上げている通りで、同窓会本来の役割である次の二点に絞られます。

①母校の各種活動を美汀会・墨汀会の皆様と協力して側面からバックアップすること。

②会員相互の親睦と融和を計ること。また、これに加えることとして現在「二寮運営検討委員会（山内副会長が委員長）」で軽井沢の「七生寮」、館山の「薬水寮」の二寮の維持管理を今後どうして行くかということ。二寮の現地調査も含めて検討を進めております。

又、平成二十九年度の総会は十月七日（土）に多くのご来賓各位をお迎えして賑やかに開催されました。今回も前年度同様開催時間を夜から昼にし、遠方の方、家庭の主婦の皆さんから参加し易くなったと喜ばれました。また総会・懇親会を盛り上げ、皆さんに楽しんで頂く為、参加会費を大幅に下げ、皆さんが参加し易くしました。

又今回は墨田川十八回生の国立がんセンター元所長・現ミッドタウンクリニック所長の森山紀之先生に講演して頂き、健康の自己管理に関して有益なお話をうかがうことが出来、皆さんに喜んで頂きました。懇親会では全国で演奏活動をしているアンサンブルマロン（墨田川五十九回卒の晝間亜希子さん他三名）によるフルート四重奏の素晴らしい演奏を楽しみました。又、昨年に続いて関西墨水会の代表にも参加して頂きました。関西での集まりでも年々参加者が増えて来ているとのことでした。

又十月一日（日）には、昨年までの杉並公会堂からサンパール荒川に会場を変更して第二十五回東京校歌祭が開催され、墨水会会員に加えて美汀会、墨汀会の皆様にも多数参加して頂き九十年以上歌い継がれてきた幸田露伴作詞、弘田龍太郎作曲の国歌「隅田の川は我師也…」を応援歌とともに歌い上げ他校の皆さんに披露しました。

役員諸氏には本年度も年間を通して、常任幹事会、広報委員会、各種学校行事、美汀会、墨汀会等の集まりに積極的に参加し活発に活動して頂きました。

結びに会員の皆様には墨水会の運営に深いご理解を頂き会の運営に度々ご寄付を頂戴し真に感謝に堪えない次第であります。紙上を借りて会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本年も母校のため会員皆様の格段のご協力をお願い申し上げます。私共の挨拶といたします。



高校教育の枠組みが 変わっていきます

校長 上村 肇

墨水会の皆様には、本校の教育にご支援をいただいておりますことを、厚く御礼申し上げます。さて、現在、高校教育をめぐる様々な枠組みが変わろうとしています。こうしたことについて、述べさせていただきます。

(民法の成年年齢引き下げについて)

昨年の「墨水会だより」にも書かせていただきましたが、公職選挙法で満十八歳以上の者に選挙権を与えたことなどから、民法の成年年齢の規定を満十八歳に引き下げようとする動きがあります。夏の内閣改造の際に上川陽子法務大臣が就任時の所信でこのことに触れたことはまだ記憶に新しいところです。その後、衆議院の解散・総選挙を経て、新しい内閣が発足しましたが、この方針は変わらないものと考えられます。

民法の成年の規定を満十八歳に改めるとなると、調整が必要なのがたくさん出てくるのが予想されます。十八歳を成年とした場合、十八歳、十九歳の若者に対しての、未成年者保護の規定の適用がなくなってしまう。具体的な問題としては、特にマルチ商法などの消費者被害が心配されます。

家庭科や公民科での消費者教育も、高校

在学中に十八歳を迎えて成人となつてしまふとなると、これまでとは構造が違つてまいります。

十八歳を成年とした場合、学校の中に成人の生徒と未成年の生徒がいるようになります。保護者の制度をどのようにするかということ、文部科学省や都道府県教育委員会に検討していただかなければなりません。

(新しい学習指導要領の実施に向けて)

高等学校の学習内容は、文部科学省から出される「学習指導要領」に基づいています。平成三十四年度の入学者から適用される高等学校学習指導要領は、すでに大枠が発表されており、平成二十九年途中で正式に告示される見込みです。学校で使用される教科書は、学習指導要領に基づいて作成され、文部科学省の検定を受けます。

今回の改訂の大きな変更点では、公民科に共通必修科目として新科目「公共」が設けられます。また、地理歴史科では、世界史必修を見直し、共通必修科目として世界とその中における我が国を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する「歴史総合」と、持続可能な社会づくりを旨とし、環境条件と人間の営みとの関わりに着目し

て現代の地理的な諸課題を考察する「地理総合」が新たに設定されます。

また、各学校で育てたい生徒の姿を明確にし、教科・科目選択の幅の広さを生かしながら教育課程を通じてそれを育んでいくことが求められ、教職員全体で学校の特色づくりを図っていくことなどが「カリキュラム・マネジメント」という言葉で示されています。また、どのように学ぶかということについては、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の視点からの学習過程の改善を進めていくことも記載されています。

このように、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実などが目指されています。

(大学入学共通テストに向けて)

現行の大学入試センター試験に代わるテストが「大学入学共通テスト」の名称で、平成三十二年に行われる平成三十三年入学者選抜から実施されます。実施方針では、各教科・科目の特質に応じ、知識・技能を十分に有しているかの評価も行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価を行うものとされています。

平成二十九年秋にはプレテストが行われ、墨田川高校でも二年次生の国語と三年次生の物理を、大学入試センターから指定された人数の生徒が受験しました。

大きく変わる点としては、「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ・数学A」についてはマークシート式問題に加え、記述式問題も出題されるようになります。また、英語では「読む」「聞く」「話す」「書く」の四技能を適切に評価するため、共通テストの枠組みにおい

て、現に民間事業者等により広く実施され、一定の評価が定着している資格・検定試験を活用するとしています。

大学入学共通テストへの対応として難しいのは、平成三十年度の高校入学者の学年から実施されるということです。(四年制の定時制・通信制課程では平成二十九年の入学者から対象となります。)新しい学習指導要領は平成三十四年度の入学者から適用されます。つまり、教育課程は従前のままであるのに、大学入試の仕組みが大きく変わることです。本来ならば教育課程が変わり、そのことを反映した入試制度の変更となるのが自然なのですが、そこが逆転しています。

また、国立大学では、大学独自の二次試験が行われます。世間の関心は大学入学共通テストに向いていますが、二次試験についても、準備して取り組まなければなりません。

こうしたことから、平成二十九年年度の中・高三年生は、これからどうなっていくのだろうか、不安にかられてしまっているかもしれません。墨田川高校としては、学校説明会などで、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」を実施している様子など、墨田川高校の体制についても鋭意説明しているところです。

以上述べたことは、ある意味で乱世の状況であるといえるかもしれません。しかし、推移するのは世の常……ということ、不断の努力怠らず」という七高生に期待していただきたく存じます。

平成29年度

墨水会事業報告

平成28年度総会(10月1日) ～ 平成29年10月6日



墨田川10回
難波 直人

1. 第94回墨水会総会

平成28年10月1日 於 上野東天紅

今年度の総会は午後1時より、懇親会は午後2時より開催されました。

一般会員43名、周年会員65名、現職員6名、美汀会員7名、墨汀会員3名、合計124名(昨年度73名)の多くの方々の出席を得る事ができました。総会は例年通り泉妻会長、上村校長、林美汀会会長の挨拶の後、事業報告、会計報告、監査報告が行われ、全て承認されて終了しました。懇親会はプラスバンド部指導者の鶴飼先生率いるヴィーヴサクソフオンクアルテッドの演奏で始まり、その後懇親会に入り楽しい一時を過ごし、最後に校歌、応援歌を高らかに歌いあげ、午後4時すぎに終了、散会致しました。

2. 第24回校歌祭

平成28年10月23日 於 杉並公会堂

今回も40名以上の参加者があり、全体の5番目に出演しました。横井副会長の学校紹介の後、鈴木常任幹事の指揮の元、応援歌と校歌を元氣よく歌いあげました。

3. 役員会

平成28年10月23日 於 杉並公会堂

校歌祭終了後、8名の役員が出席して来年度の総会について、広報委員会開催について、寮検討委員会について等、話し合われました。

4. 寮検討委員会

平成28年12月5日 於 大将

12名の委員が出席し、話し合われましたが、結論は出ず、しばらくは今のまま運営し更に検討していく事になりました。

5. 第1回広報委員会

平成28年12月9日 於 同窓会室

墨水会だより24号発刊について話し合わせ、今回も(株)サルトに例年と同様の契約をする事になりました。

6. 第1回常任幹事会兼忘年会

平成28年12月14日 於 上野東天紅

28名の出席があり、総会の会計報告、来年度の総会について話し合いが行われました。その後、山内副会長の司会で懇親会に移り、おいしい料理を食べながら楽しい一時を過ごしました。

7. 第2回広報委員会

平成29年1月13日 於 同窓会室

9名の委員が出席して、集まった原稿の点検と割り付け等を行いました。

8. 寮検討委員会

平成29年1月24日 於 大将

13名の委員が出席して、一寮存続の場合、二寮存続の場合、各々のメリット、デメリットについて検討がなされました。

9. 第3回広報委員会

平成29年1月31日 於 同窓会室

7名の委員で、後から届いた原稿の点検、割り付けを行いました。

10. 第4回広報委員会

平成29年2月17日 於 同窓会室

2名の委員で、最終校正を行いました。

11. 役員会

平成29年4月12日 於 上海菜館

9名の役員が出席して、今年度の役割分担や各々の事業について話し合われました。

12. 第2回常任幹事会

平成29年4月13日 於 会議室

28名の出席者があり、今年度の総会・懇親会について話し合われました。又、校歌祭、文化祭参加について報告がなされ、最後に墨水会だより24号を希望する枚数各期の常任幹事にお渡しして散会しました。

13. 役員会

平成29年7月6日

於 スカイツリー内茶店

4名の役員が出席し、講演を依頼した森山氏も加わり、総会、懇親会について話し合いを行いました。

14. 第3回常任幹事会

平成29年7月12日 於 旧食堂

27名の出席者があり、総会に於いて18回卒業の森山氏に講演を、又懇親会では、59回卒業の晝間さんはじめ4名によるフルート演奏をして頂く事が承認されました。又、開催時間、参加費などは昨年と同様とする事と決まりました。

15 第4回常任幹事会

平成29年8月31日 於 会議室

24名の出席者があり、総会、懇親会、校歌祭、七高祭等について話し合わせ、最後に総会用の往復葉書を各期の常任幹事に配布して散会しました。

七生寮訪問

〔平成28年11月10日〕

寮近くの方より最近何回か火災報知機の異常を知らせる連絡があり谷澤氏が寮を訪れ点検しました。又、星野屋の丸山さんと管理について話し合いを行いました。

楽水寮訪問

〔平成29年4月10日〕

谷澤・清澤氏が参加し、管理人の網代さんと本年度の契約を更新し、又11月より今日までの宿泊費の清算を行いました。

サッカー部のOB4名の方達も合宿の後に手伝いに来てくれました。

七生寮開寮

〔平成29年7月29日～8月27日〕

今年度は30日間開寮し、延べ利用者数は102名でした。

16 七高祭参加

平成29年9月9日・10日

於 墨田川高校

9日は11名、10日は10名の役員が参加し、例年通り宮部みゆきさんの本をアンケートに参加した人に渡しました。又、壁には本校の沿革史や2寮のパネルや写真を貼り、墨水会の活動状況を紹介しました。

楽水寮訪問

〔平成28年11月14日〕

谷澤・清澤氏 漏水工事の点検、給水機の交換の確認を行いました。

七生寮訪問

〔平成29年5月11日〕

海谷・谷澤・清澤氏が参加し、星野屋と今年度の管理契約を行いました。又、火災報知機の点検等を行いました。

美汀会歓迎会

〔平成29年5月20日〕

墨水会より7名出席しました。

楽水寮訪問

〔平成29年6月14日〕

谷澤・清澤氏が参加。エアコン等の点検、4月～6月の宿泊費の清算を行いました。

七生寮閉鎖

〔平成29年8月28日～29日〕

墨汀会の方の協力を得て、4名で作業を行いました。

17 第25回校歌祭

平成29年10月1日

於 サンプル荒川

昨年同様横井副会長の学校紹介の後、鈴木憲康氏の指揮、田沼みどりさんのピアノ演奏で校歌・応援歌を歌いあげ、その後近くのソバ屋さんで懇親会を行い、楽しい1日を過ぎ散会しました。

〔平成29年3月6日〕

墨水会だより24号(3千部)完成

〔平成29年3月11日〕

墨田川高校卒業式

墨水会より4名出席しました。

〔平成29年3月30日〕

一般財団法人七星会理事会
墨水会より6名が出席し2寮について話し合いました。

〔平成29年6月16日〕

泉妻会長・清澤氏 出席しました。

楽水寮訪問

〔平成29年7月18日〕

谷澤・清澤氏が参加。新しく購入した備品の確認と、修理交換した2台のエアコンの点検等を行いました。又、夏期利用予約状況の説明を行いました。

東天紅訪問

〔平成29年10月3日〕

東天紅での総会・懇親会の打ち合わせを行いました。

その他

楽水寮訪問

〔平成28年10月6日〕

谷澤・清澤氏 夏期宿泊費の清算等を行いました。

〔平成29年4月7日〕

墨田川高校入学式
墨水会より3名出席しました。

七生寮開寮準備

〔平成29年7月27日・28日〕

例年通り5名で行いました。27日には



平成28年度 墨水会会計報告

収支計算書 (平成28年度)

平成28年7月1日から平成29年6月30日まで

1 収入の部 (単位:円)

科目	金額	摘要
28年度卒業生入会金	2,472,000	309名×8,000円
名簿代(28年度卒)	1,236,000	309名×4,000円
寄付金	1,474,074	63名と2団体
利子	27,356	
当期収入合計(A)	5,209,430	

2 支出の部

科目	金額	摘要
墨水会会報費	525,720	2,300部
総会懇親会補助費	563,606	案内葉書代他
小冊子名簿代	71,864	350部
校歌祭費	68,812	参加費、広告代
文化祭費	33,166	参加費
通信費	155,659	切手代、郵送代
会議費	334,997	常任幹事会、広報委員会、役員会他
渉外費	75,200	美汀会、墨汀会関係
寄付金	2,300,000	七星会へ200万、学校へ30万
事務委託費	721,000	小荷田さん、谷澤さん給与・交通費
雑費	2,700	事務室へ
当期支出合計(B)	4,852,724	

3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	5,209,430	
当期支出合計(B)	4,852,724	
当期収支差額(A)-(B)	356,706	
期首在庫品(C)	5,116,000	1,279冊×4,000円
期末在庫品(D)	3,880,000	970冊×4,000円
当期剰余金(A)-(B)-(C)+(D)	△879,294	前期剰余金 5,800,781

繰越金計算書

前期繰越金	31,096,284	
当期剰余金	△879,294	
次期繰越金		30,216,990

以上のとおり御報告申し上げます。

平成29年10月7日

墨水会 会長 泉 妻 秀 一
墨水会 会計 谷 澤 尚 樹

開始残高

平成28年7月1日

1 資産の部 (単位:円)

定期預金(一般口座)	16,000,000
〃(寄付口座)	0
普通預金(一般口座)	4,645,882
〃(寄付口座)	5,181,917
現金	152,485
在庫品	5,116,000
資産の部合計	31,096,284

2 繰越の部

繰越金	25,295,503
前期剰余金増加額	5,800,781
繰越の部合計	31,096,284

閉鎖残高

平成29年6月30日

1 資産の部 (単位:円)

定期預金(一般口座)	16,000,000
〃(寄付口座)	0
普通預金(一般口座)	5,834,513
〃(寄付口座)	4,356,073
現金	123,324
仮払金	23,080
在庫品	3,880,000
資産の部合計	30,216,990

2 繰越の部

繰越金	31,096,284
当期剰余金増加額	△879,294
繰越の部合計	30,216,990

監査報告書

墨水会定時総会議長 殿
平成29年10月7日

平成28年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

墨水会

会計監査 宮本 雄 司
会計監査 石 井 温

役員一覧

会 長	泉妻 秀一	高 8 回	副 会 長	高田まさ江	高 18 回
副 会 長	大木 善夫	中 20 回	〃	出羽 邦夫	高 23 回
〃	梶原 徳二	高 4 回	〃	山内 雅哉	高 30 回
〃	難波 直人	高 10 回	〃	宮本 雄司	高 30 回
〃	横井 正男	高 13 回	会 計	谷澤 尚樹	高 15 回
〃	谷澤 尚樹	高 15 回	会計監査	宮本 雄司	高 30 回
〃	竹鼻 宏子	高 15 回	〃	石井 温	高 31 回
〃	加藤多恵子	高 15 回	顧 問	海谷 利宏	七高1回
〃	清澤 健一	高 17 回	〃	井上 常一	高 3 回
〃	小川 浩平	高 18 回	相 談 役	内田 博万	高 4 回

平成二十九年度(第九十五回) 墨水会総会を開催

高校13回 横井 正男



「平成二十九年度第九十五回墨水会総会」が、平成二十九年十月七日(土)に上野東天紅に於いて午後一時より開催されました。出席者は七十九名、特に会費が優遇されている今年の周年会員(男性 三千円、女性 二千円)の期はPRが十分でなかったためか、この期の出席者が九名と例年に比べ極めて少なかったことは残念でした。また、上村校長先生はじめ現職員の先生方は学校行事と重なったため参加されませんでした。

総会は山内雅哉副会長(高三十回)の司会により進められました。

大木善夫副会長(中二十回)の開会の辞、泉妻秀一会長(高八回)の挨拶、皆川希巳枝美汀会会長の来賓ご祝辞を頂いた後、議事に入りました。

議事は泉妻会長が議長になり進められました。難波直人副会長(高十回)の事業報告、谷澤尚樹副会長(高十五回)の会計報告、宮本雄司会計監査(高三十回)の監査報告がありました。また、今年役員改選の年にあたり、現役員の全員留任が承認されました。

議事終了後、元国立がんセンター検診研究センター長で現在はミッドタウンクリニック理事の森山紀之先生(高十八回)による「がん治療と生き方(がんは怖くない)」の記念講演が行われました(講演の内容は別掲)。

最後に梶原徳二副会長(高四回)による閉会の辞により総会は終了しました。

総会終了後の懇親会は大川浩平副会長(高十八回)の司会により進められました。

横井正男副会長(高十三回)の開会挨拶、海谷利宏顧問(高一回)の乾杯発声により懇親会は和やかにスタートしました。

アトラクションは書間亜希子さん(高五十九回)が編成するアンサンブルマロン(四人)によるフルート四重奏です。書間さんは武蔵野音大卒業、現在は公演活動を続けながら、後進の指導にあたり

ている優れたフルート奏者です。会場は、さわやかで優しい音色のフルート演奏を耳にしながら和やかなひと時を過ごし盛り上がり

ました。会も進み、最後は幸田露伴作詞、弘田竜太郎作曲の名曲「校歌」を斉唱、更に「応援歌」も元気に声を張り上げて歌いました。

井上常一顧問(高三回)の閉会挨拶により全ての予定は終了しました。

「総会・懇親会」は「毎年十月の第一土曜日」に開催されます。運営につきまして、講演・アトラクション：等々、良いご提案をぜひお寄せ下さい。



懇親会



森山紀之氏による講演

七高祭に参加して

墨田川15回 加藤多恵子

恒例の七高祭（文化祭）が九月九日（土）十日（日）の二日間開催されました。

墨水会が参加させていただく様になって四回目となります。毎年とても盛況で各族の趣向を凝らした垂れ幕やグループごとのおそろいのTシャツ、部活やクラスの催し物等生徒達の努力が容易に想像出来ますし、それが懐しい想

出となる事は間違いありません。貴重な経験だと思えます。

我々同窓生もこの様な素晴らしい想い出が原動力となって墨水会の活動にも力が入るわけです。その一つが墨田川高校が維持している七生寮（軽井沢）と楽水寮（館山）での課外活動や合宿だったので皆様にもっと広くお知らせし、活用していただける様紹介しています。



第一校舎正面玄関

我々（墨田川高校）が誇る素晴らしい校歌を高らかに歌う東京校歌祭の様子をビデオで流したり、墨田川三十一回卒の宮部みゆきさんの本や七高（墨田川高校）グッズをクイズ参加者に配ったり、少しでも多くの方々（在校生、卒業生、先生方、美汀会、御近所の方々等）に、そして受験の下見に来られた親子連れの方々にも墨水会の活動を紹介出来たのではないかと思っております。

次回もより多くの方々を足をはこんでいただけます様お願いいたします。

第25回東京校歌祭について

東京校歌祭実行委員 墨田川17回 清澤 健一



にあります。墨田川高校からも亀戸から明治通りを走るバスで行くことができ、朝から良い天気でしたので観客者含めて50数名が参加しました。横井墨水会副会長の学校紹介の後、応援歌と校歌を鈴木さんの指揮、音楽部卒業生の田沼さんの伴奏により斉唱しました。

サンパール荒川はリハーサル室が無く会議室を借りて各校20分ずつ割り与えられました。リハーサル時はスマホで録音したものを使いましたが大会議室の中でも支障なくできました。出演時間に入退場含んで各校10分与えられていましたが墨田川高校の出番前は5分早まりましたので早めに舞台上に行きましたがさらに早まっており慌てて七中・七高の旗を取りに行きギリギリで間に合いました。出演後はサンパール荒川隣の蕎麦屋で反省会（懇親会）を行いました。今年の出演校は、竹早、白鷗高校が初参加したためと東大、一橋大、早稲田、慶応の4大学の出演をことわり20校が出演しました。

平成29年度第25回校歌祭は10月1日（日）サンパール荒川にて開催されました。都電荒川線町屋駅から徒歩2分のところ

次回第26回校歌祭は、杉並区の後援を獲得できたため一般より早く抽選ができるようになり、11月3日（土）文化の日に決まりました。多くの人の参加お待ちしております。

美汀会ご挨拶



美汀会会長

皆川希巳枝

皆様、こんにちは。

私は美汀会会長の皆川と申します。

日頃より墨水会の皆様には暖かくご支援頂きましてありがとうございます。

9月に行われました七高祭ではご協力を賜りありがとうございました。今年も、3,900名余りのご来場者があり、お陰様で無事、賑やかな二日間を終えることが出来ました。

私の子供が所属しておりましたサッカー部の母たちは子供に負けじと保護者も七高祭を楽しみ、墨水会ブースにおかれましては、クイズにも楽しんで参加していただいています。中にはめでたく本を頂いたものの、うっかり元々持っていた本と同じ本を選んでしまったというオチに一同苦笑したという場面もございました。また展示された資料から創立当時のモダンな校舎、戦災や戦後混乱期を経て現在の学び舎に至る歴史を知り、創立以来継承されてきた伝統は七高を愛した卒業生の証であると感じます。また、部活や体育祭の応援団などの学年を超えた繋がりや今の時代には珍しく、子供たちが楽しそうに活動している様子

に墨田川高校が心のふるさとであって欲しいと願わずにいられません。

先週、参加させて頂いた校歌祭では様々な時代背景の中で歌われてきた校歌を、大先輩の卒業生や今年に卒業したばかりの卒業生と共に歌い、何ともいえない不思議な感動で胸が一杯になりました。子供たちは合唱祭の課題曲として校歌を歌いますが、その真剣に歌う姿は素晴らしく、校歌をあまり歌う機会が無く卒業してしまう学校も多い中、きっとこの名曲は子供たちの心に刻まれることでしょう。一生懸命行事に取り組み中で子供たちには絆が生まれます。その繋がりが100周年、またそれ以上の発展の中で伝統が築かれていくことと思います。美汀会が協力出来ること、それはこの恵まれた環境を守っていくことに思っています。

学校では2期制のため9月で前期が終わり、10月から後期が始まりました。1,2年生は12月の合唱祭に向け、3年生はいよいよ進学に向けて本腰を入れる時期となりました。今月末には進路対策委員会による学習会が予定され、沢山の保護者の参加が見込まれます。

美汀会では七高祭をはじめ、それぞれの委員会が活発に活動しております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

訃報

墨田川10回 昭和33年3月卒

墨水会相談役

清宮 胖 氏を偲んで



昭和33年3月卒業の清宮胖氏は、母

校在学中バスケットの選手として目覚ましい活躍をされ、卒業後も母校への思いが人一倍強く、大先輩であり法政大学バスケット部の顧問であり墨水会副会長でもあった山田耕路氏(七中23)のもとで墨水会活動に井上顧問の後幹事長として積極的に活躍されました。

副会長に就任後には母校の単位制高校移行にあたり都政に種々の貢献ある山田副会長の意向に添って、新制度に於ける母校にかける予算や新築する校舎などの建設にかかわる都教委のとり予

算削減や母校が不利となるその対応に側面から奔走され、新校舎の建設や屋上に建設される付属プールの予算などの復活に尽くされました。

また、日本橋人形町におでんの店『田五作』を経営されていたことで、幹事会でも種々お世話になり常任幹事会やその後の集まりには必ず同所を利用させて頂きました。

数年前から肺気腫の病を発症され自宅療養されておられましたが、真に残念なことに、去る昨年8月27日に病俄かにあらたまりご自宅にて、奥様やご親族の皆様にもとられながら77歳を一期として逝去されました。

墨水会からは、氏の長年にわたる会へのご尽力とご功績に対し深甚の感謝を申し上げますと共に、9月1日に江東区の毛利会館にて行われました葬儀式場にての盛花を奉呈し、謹んで氏のご冥福をお祈り申し上げます。

当日は、泉妻会長をはじめとして、同期の皆様や多くの会員とその家族の皆様など関係各位の方々が参列し、氏のご霊前に永遠のお別れを申し上げます。



医療に従事して



墨田川18回
森山 紀之

昭和41年に墨田川高校を卒業しました。父は小岩の下町で診療所を開業していました。無口な父で、私に対しては、医学のことはあまり話さず、特に医師になれと言うこともありませんでしたがなんとなく医学部に行くのだと思っていました。その当時は、あまり医師になりたいとも思っていませんでしたので、ろくに受験勉強もしていませんでした。当時の大学受験日は、たしか3月の初めだったと思うのですが、その約2週間前に父がいきなり心筋梗塞で他界してしまいました。この時、葬式に訪れた患者さんたちの多くが泣いており、中には父の位牌に縋り付く方もいました。ある意味では、赤の他人である父の死に対して多くの患者さんやその家族の人たちが父に対して感謝し涙を流してくれていたことは、私にとっては驚きであり、昨日のことのようによく覚えています。この時、初めて何としても医師になりたいと考えようになったのだと思います。勉強はろくにしていませんでしたから、もちろん、この時の受験には失敗しましたが、翌年には何とか千葉大学の医学部に入学することができました。当時の国立大学の授業料は入学金1万円、授業料は月1千円と非常に安くアルバイトをすることで何とか過ごすことができた良き時代でした。医学部ではいろいろなことを教わりましたが、実際の臨床ではほとんど役立たず、患者さんを扱いながら、先輩医師の教えによって勉強をしました。最初は外科医となりましたが、当時の医療では、超音波検査、CT、MRIなどの診断機器はまだなく、医師の感による治療が主体でした。このため、手術自体はうまくいっているのですが、診断が正確でないために必要のない手術が行われたり、病変部を取り残すことが多々ありました。このため、診断を勉強するために築地の国立がんセンターで診断の勉強をすることになりました。がんセンターには37年間勤務をしましたが、ここで教わったことは、手術で人の命を助けるのも、早期でがんを発見し、人の命を助けるのも同じように価値のあることだということでした。がんは早期に発見すれば大体のがんは治る時代になってきました。現在、がんで亡くなる方は36万人を超えています。この数字は交通事故死の100年分に相当します。鳥取県の赤ん坊から年寄りまですべての人が2年間で消滅してあまりのある数です。私の患者さんにも運よくがんの早期発見で助かった方や不幸にして手遅れになった方がたくさんいます。墨水会の皆様方も積極的にがん検診を受け、人生を大いに満喫していただきたいと思います。

最後に高校時代に世界史で学年最低点を取った時にいろいろ説教をしてくださったN先生をはじめとする先生方、受験直前にもかかわらず父の葬式に来ていただいた同級生の皆様に感謝をいたしたいと思います。今後も世の中のため役立つように医療現場でがんばってまいりたいと思っています。

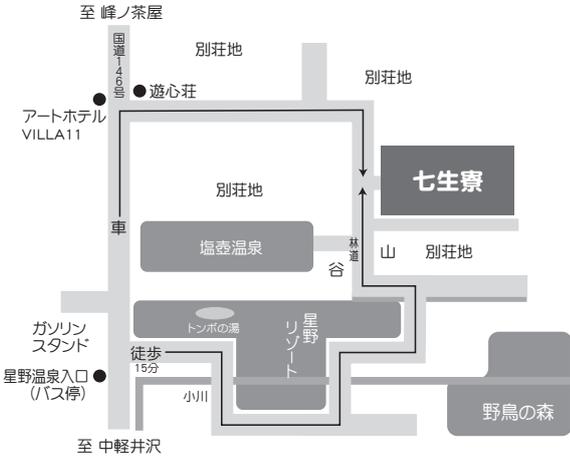
森山紀之氏の著書

“幸せながん患者” 講談社 / “がんはどこまで治せるのか” 徳間書店 等



軽井沢 七生寮

七生寮



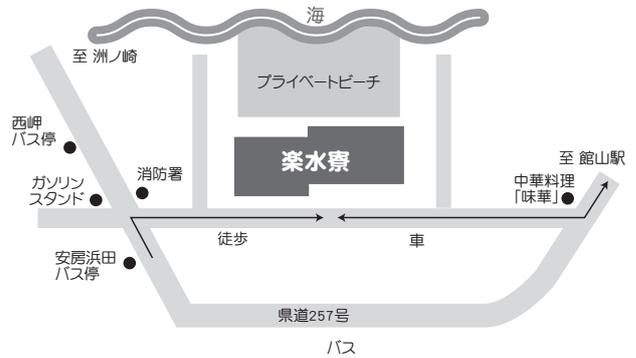
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字赤岩2148
 電 車 東京駅より新幹線あさま号で1時間35分
 「軽井沢」駅下車、西武高原バス(草津温泉行)20分、
 又は中軽井沢駅よりバス10分、
 「星野温泉入口」より徒歩10分
 自動車 国道146号峰の茶屋方面
 アートホテルVILLA11
 城北信用金庫看板(遊心荘)右折1分

利用期間 7月末日から8月末日まで
申込方法 6月1日より学校にて予約受付を行います。
 学校受付 ☎03-3611-2125 (小荷田)
 夏期開寮中の申し込みは直接寮へ
 寮 受付 ☎0267-45-5672 (谷澤・清澤)
料 金 (素泊)
 大人 3,000円 (中学生以上)
 子供 2,000円 (小学生)
 休憩 1,000円 (大人) 500円 (子供)
 厨房使用料 1日500円



楽水寮 房総館山

楽水寮



〒294-0303 千葉県館山市浜田160
 電 車 東京駅よりビューさざなみ号2時間13分
 内房線「館山」駅下車、JRバスにて30分、
 「安房浜田バス停」より徒歩5分
 バ ス 東京駅八重洲口より急行バス館山行1時間45分
 自動車 バス通り(房総フラワーライン)洲崎方面
 中華料理屋(味華)脇右折3分

利用期間 原則として通年ご利用いただけます。
申込方法 夏期休業中は直接寮へ申し込んでください。
 寮 受付 ☎0470-29-0127 (管理人 網代)
 その他の期間は学校へ申し込んでください。
 尚、夏期予約は6月1日より行います。
 学校受付 ☎03-3611-2125 (小荷田)
料 金 (素泊)
 大人 3,000円 (中学生以上)
 子供 2,000円 (小学生)
 休憩 2,000円 (大人) 1,000円 (子供)
 食事については、寮で注文してください。(お弁当・刺身の舟盛等)
 尚、庭にてバーベキューを行う事が出来ます。(バーベキューセット
 使用料1台500円)又、厨房も利用出来ます。(使用料1日500円)

27日夕方、三三五と集まって来て夕食が始まりました。寮の使用状況など寮運営の話になりましたが使用してもらう為の方法などで、OB会、クラブ活動の合宿等々に積極的に呼びかけていこうということになりました。皆さんも、クラス会、同期会で御使用下されれば幸いです。
 その後懇親会に移行し、泉妻会長はじめ12名の出席者が時間を忘れて、和気あいないうちに終了致しました。

現役生徒の使用を希望しています。
 27日夕方、三三五と集まって来て夕食が始まりました。寮の使用状況など寮運営の話になりましたが使用してもらう為の方法などで、OB会、クラブ活動の合宿等々に積極的に呼びかけていこうということになりました。皆さんも、クラス会、同期会で御使用下されれば幸いです。
 その後懇親会に移行し、泉妻会長はじめ12名の出席者が時間を忘れて、和気あいないうちに終了致しました。

七生寮視察

墨田川15回 竹鼻 宏子

平成29年8月27日に恒例の軽井沢七生寮の視察が行われました。我々仲間4人は車で26日より2泊することにして翌27日に来る皆さんと合流しました。都会の喧騒と暑さから逃れて(後に聞いてみたところ東京もさほど暑くなかった様ですが...)静けさとマイナスイオンの木立の中に居ると身も心も洗われ何日もここに居たいものだと思われれます。今年も現役生徒の使用がなかった様ですが、その生徒達は本当に損をしているなと思いました。現役時代の一つの思い出作りには格好の場所だと思っておりますが寮の前にはかの有名な星野屋が有りその施設の使用も可能です。例えば「とんぼの湯」は墨田川高校と言うだけで何割も安くなります。(時間により差が有ります)その隣には歴史を感じる塩壺温泉もあります。これも90年以上続く老舗の宿です。その様な環境の中に先人達が残してくれた七生寮をこれからも維持してゆくことは我々とそしてこれから卒業して墨水会に入ってくる人達の使命と思っております。その為にも是非現役生徒の使用を希望しています。

同期会・クラス会

墨田川10回 G組はまだまだ元気です！

奥山 達夫

私達も年を重ね、間もなく80歳を迎えようとしています。

卒業時のG組の生徒数は52名(女性14名、男性38名)でした。現在の内訳はクラス会通知可能者30名、連絡不明者12名、物故者10名となっています。

定年前の現役時代には忘れた頃のクラス会の頻度でしたが、還暦を機にクラス仲



間に会いたいな!と考え、懐かしさも募り内田和幸と奥山達夫の両名が幹事となり、還暦の平成10年に連絡網を駆使してクラス会の案内状を送付したところ28名が集まりました。

久しぶりの元気な再会を喜び合い、クラス会は毎年開催する事になりました。幹事兩名も気分を良くして生涯幹事を引き受け昨年は連続20回目を迎えました。

母校近くの百花園の「お成り座敷」は雰囲気も良く毎年利用させてもらっています。場所柄、時期的に句会、歌会等の利用が多く特に週末夕方の予約取りが大変です。級友には現役もおり平日は開催しません。当初は秋の開催としておりましたが、平成24年スカイツリーのオープンを機会に新緑が美しく気候の温暖な5月の昼間に変更しました。

級友は関東一円はもとより九州、関西からも参加してくれるので幹事としては参加費等を考慮すると悩むところです。

スカイツリーオープンの年からは二次会も「そらまち」と決めております。二次会もほとんど全員参加です。会費から幹事が選んだ家族への東京土産を用意して来年元気に再会する事を誓って名残惜しく散会しました。

墨田川12回 「元氣七高会」

保坂 一壽

卒業後ほとんど途絶えてしまっている母校「七高」との絆。残念に思う気持ちを、心の内に持ちつつも、そのきっかけがなかなかつかめず、「いつの日か」「何処かで」会えたらいいな!と思っておられる方が、大勢おられるのではないのでしょうか。

昨年たまたま経理事務を依頼している、菊池満雄君のお声がかかりで、「向島 鰻割 烹料理大和田」にて、60年ぶりに、邂逅したのがきっかけとなり、今年、江東区東陽町「East 21」にて、第二回目の会を、無

事催すことが出来ました。参加者は、ともに12名程度ですが、私達12回生と限定することなく、上の学年並びに下の学年を含めて、同じ時に通学し、先生方から訓導を受けた世代の集まりにしたいとの思いで、名称を「元氣七高会」と名付け、気心の知れた仲間から、お互いに声を掛け合って、母校に貢献できたらとの思いを込めて、これからも、会を重ねていこうと、考えております。また、投稿のきっかけをお作り戴いたのは、今年の会に「墨水会」の副会長としておられる、横井君が見えられ、「墨水会」への参加を呼びかけられたことが、私共の世代間交流に繋がっていったらとの思いと重なり、さらに多くの参加者を募り、母校愛に通じる「心・魂の交流」が出来ましたら、これに勝るものはないと考えてのこと

であります。丁度、3年時に、新校舎の建設に着手し、その恩恵には全く携わることのできなかつた、木造校舎の世代で

上場企業の役職についておられた方、大学等で教鞭をとっておられた方、法曹界で検事・弁護士として活躍された方等、多くの面々が居ります故、何かと話題も豊富、時間の経つのを忘れての会となっております。多くの方からのご連絡を心待ちにしております。尚私は葛飾区立石にて、「私塾」を。連絡先の、菊池君は、大学も一緒に60年来のお付き合いとなります。



元氣七高会 (於 イースト21 さざんか)

【連絡先】
菊池満雄会計事務所
(3610) 1321 菊池 満雄
立石カルチュアセンター
(3695) 0600 保坂 一壽

墨田川13回 高校十三同期会 開催の報告

鎌倉

はじめ

第十四回目の同期会を、平成二十九年十一月十八日(土)午後四時より錦糸町の「東武ホテルレバント東京」芙蓉の間(三階)に於いて開催しました。

同期会は、卒業直後から四年に一度開催してきましたが、皆さんの要望から、現在は二年毎に開催しています。早いもので卒業以来五十六年経過しました。

今回の出席者は、全七クラスで六十一名(男三十七名、女二十四名)でした。健康を害して出席できないとの返信も増え、前回二年前に開催した時の参加者より十三名少なくなり、いささか寂しくなりました。しかし、乾杯後、懇親会がスタートするや否や早々に青春時代の思い出、当時の思い出、更に近況についての情報交換、仕事・ボランティア・趣味・果ては病院通い等々大変な盛り上がりになり大いに旧交を温めました。予



定の時間は瞬く間に過ぎました。最後に、恒例の校歌斉唱を元気に歌い上げ、午後四時に本会は予定通り閉会となりました。

午後四時半より同じ会場に於いて二次会に移りました。カラオケ等もあり楽しいひと時を過ごしました。名残を惜しみながら午後七時半に「次回も元気に再会」することを祈りながらお開きとなりました。次回は二年後の予定です。図らずも新天皇ご即位の年、第十五回同期会は新元号元年の秋開催になりそうです。

会の設営に尽力頂いた代表幹事の山崎宏次君はじめ、各クラスの幹事諸氏に感謝いたします。次回も宜しくお願い致します。



墨田川15回 3年G組クラス会 開催報告

角田 靖夫

平成29年11月1日(水)秋晴れのもと、懐かしい向島百花園でクラス会を開催しました。前回の七生寮での開催から3年ぶり

の再会でした。百花園は2度目でしたが、幹事3名のうち2名がこの時に参加出来なかったため、ぜひもう一度という希望での開催でした。

平日にもかかわらず、総勢14名の方が集まりました。順番に近況報告をしながら、食事を楽しみつつ想い出話に話が弾みました。特別に追加した長命寺の桜餅がおいしいと好評でした。最後には野本幹事の珍しい楽器演奏を聴くことが出来たのも素敵な経験でした。

皆それぞれ歳はとったものの、何らかの形で社会と関わっていることは素晴らしなことだと思えました。そのあと墨田川高校を訪問し、第二校舎の裏にある自然観察園(ビオトープ)を見学したり、第一校舎の前にある校歌が書かれた石碑を見て校歌をうたったり、校庭を見学し、学生時代を思い起し楽しい一時を過ごしました。新しい幹事に次回の開催をお願いして楽しい集いを終えました。



竹村克男(高八回)水彩画展が 開催されました

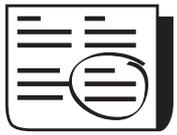
高13回 横井 正男

平成二十九年十一月一日から二十一日まで三週間にわたって、第七回竹村克男(高八回)水彩画展「ベネチア四十景」が、越谷市コミュニティーセンターギャラリーで開催されました。

水都ベネチアの本島・ブラーノ島・ムラーノ島の水路・町並みを描いた作品四十点が出品されました。どれも明るく心温まる絵でした。この水彩画展の様子はジェイコムケーブルテレビでも紹介されました。

第八回の個展開催も計画されているそうです。次回も楽しみにしています。軽井沢の七生寮のホールの壁に掲げられている大きな風景画(百二十号)二点は、二年程前に竹村画伯より寄贈されたものです。





第69回生(平成29年3月卒業生) 大学等合格実績及び進路状況

墨田川55回 野崎 智

合格者数	合格者数	合格者数	合格者数
国公立 23	明治大学 16	聖心女子大学 1	日本大学 49
山形大学 1	青山学院大学 11	聖徳大学 6	日本社会事業大学 2
東北大学 1	立教大学 15	聖路加国際看護大学 1	日本獣医生命科学大学 1
群馬大学 1	中央大学 8	専修大学 13	日本女子大学 2
茨城大学 1	法政大学 33	創価大学 10	日本赤十字看護大学 1
筑波大学 1		大正大学 10	フェリス女学院大学 1
埼玉大学 3	亜細亜大学 4	大東文化大学 10	文化学園大学 1
千葉大学 1	跡見学園女子大学 2	拓殖大学 6	文教大学 10
東京海洋大学 2	桜美林大学 2	玉川大学 1	文京学院大学 2
東京藝術大学 1	大妻女子大学 1	千葉工業大学 13	星薬科大学 1
東京学芸大学 2	学習院女子大学 2	千葉商科大学 1	武蔵大学 7
都留文科大学 1	神田外語大学 2	中央学院大学 1	武蔵野大学 9
富山大学 1	関東学院大学 2	帝京大学 4	武蔵野音楽大学 1
兵庫教育大学 1	北里大学 2	帝京科学大学 3	明海大学 2
琉球大学 1	京都産業大学 2	帝京平成大学 2	明治学院大学 11
高崎経済大学 1	共立女子大学 3	東海大学 5	明星大学 7
埼玉県立大学 1	杏林大学 3	東京医療保健大学 7	目白大学 4
首都大学東京 2	近畿大学 1	東京家政大学 7	立正大学 11
県立広島大学 1	金城大学 1	東京家政学院大学 1	流通経済大学 1
	工学院大学 4	東京経済大学 2	了徳寺大学 2
	國學院大學 16	東京工科大学 2	和洋女子大学 1
大学校 2	国士舘大学 6	東京成徳大学 1	
航空保安大学校 1	駒澤大学 15	東京電機大学 13	短大 4
水産大学校 1	実践女子大学 5	東京都市大学 1	医療看護系専門学校 7
	芝浦工業大学 3	東京農業大学 14	その他専門学校 17
早慶上理 24	順天堂大学 5	東京福祉大学 4	就職 2
早稲田大学 7	昭和大学 3	東京未来大学 2	
慶應義塾大学 1	昭和女子大学 5	東邦大学 7	
上智大学 8	女子栄養大学 1	東洋大学 83	
東京理科大学 8	女子美術大学 2	東洋英和女学院大学 1	
	成蹊大学 4	東洋学園大学 1	
GMARCH 90	成城大学 12	獨協大学 14	
学習院大学 7			

今日までに、指定校推薦、公募推薦、AO入試等で46名の大学・短大合格者が出ています。

明日からのセンター試験から順次、私立大学の一般入試、国公立大学の個別試験が始まりますので合格者は増えていきますが、センター試験前日までの大学合格者は以下の通りです。

国立大学(2)	筑波大学 1	首都大学東京 1
早慶上理(5)	慶應義塾大学 1	上智大学 2
東京理科大学 2		
GMARCH(15)	学習院大学 3	青山学院大学 2
立教大学 2	中央大学 1	
法政大学 7		
私立大学(23)		
東洋大学 1	日本大学 2	
芝浦工業大学 1	東京家政大学 2	
駒澤大学 1	文教大学 2	
成蹊大学 1	東京農業大学 2	
明治学院大学 2	昭和女子大学 1	
東京都市大学 1	玉川大学 1	
武蔵野大学 1	北里大学 1	
平成国際大学 1	国際武道大学 1	
学習院女子大学 1	跡見女子大学 1	
短期大学(1)		
戸板女子短期大学 1		

平成29年12月時点での
現3年次生(第70期生)の
主な進路状況

部活動状況

墨田川55回 野崎 智

■ 女子バレーボール部 2年C組 深井 渚

「女子バレーボール部の活動」



女子バレーボール部は、顧問の花井先生と野崎先生（墨田川55回）のご指導の元、現在12名で活動しています。6月に先輩方が引退し、新チームになってから私達はベスト64に入るという目標を立て、それに向かって頑張ってきました。その結果、秋に行われた新人戦では見事目標を達成することができました。次はベスト32に入ることを目指し、毎日練習に励んでいます。練習は、厳しく辛いときもありますが、仲間と支え合いながら楽しんでバレーボールをしています。部員一人一人の個性が強く、賑やかな部活で、先輩後輩関係なく仲が良いです。その絆をチームプレーに生かし、一丸となって強くなりたいと思っています。忙しい中、練習をみて下さる顧問の先生方や、伝統を築いて下さった先輩方など、多くの人への感謝の気持ちを忘れずに、これからも活動していきたいです。

■ 書道同好会 2年C組 武田 優里

「書道同好会」

書道同好会は今年度の四月に活動を始めました。私たちにとって最も大きな行事は文化祭でした。書道パフォーマンスにも挑戦し、掛け軸などの展示も同時進行で準備を行いました。全員が初めてのことで大変なことばかりでしたが、部員の絆も深まり大きな経験になりました。

普段の活動では顧問の佐々木先生と書道科の石出先生（墨田川32回）に指導をして頂きながらコンクールなどに向け作品を制作しています。今年度は、国際高校生選抜書展での入選をはじめ、各大会に於きまして部員全員が入賞を果たしました。

今年は部員を増やし、もっと色々な活動ができるよう精進してまいりますので応援よろしくをお願いします。

■ 女子バスケットボール部 2年D組 橋本 佳穂

「青春をかけて」



今年度の女子バスケットボール部は部員16人で活動しています。公式戦ベスト32を目標として、日々練習に励んでいます。夏合宿から力を入れているディフェンスを強みとして夏季大会、新人戦共に3回戦進出という結果を残しました。しかし、足りない点も多く、まだ目標には届いていません。これからは学年関係なく、良い時は褒め合い、良くないときは指摘し合えるチームにしていきたいです。また、全員にバスケットが好きで勝ちたいという思いがあるからこそ練習に真剣に取り組み、個々に自然とライバルができ、ライバルがいるからお互い切磋琢磨して成長することができています。そして、チーム層をより厚くしていきたいです。今までこのチームでやってきたことに自信を持って最後の大会に挑み、ベスト32という目標を達成したいと思いますので応援よろしくをお願いします。

■ 剣道部 2年F組 大澤 凜夏

「関東大会出場に向けて」

剣道部女子主将の大澤凜夏です。私たちは、男女共に関東大会出場を目標に日々活動しています。

ここ最近の最高戦績は都大会男子団体ベスト16、個人ベスト8。女子団体、個人ともにベスト16。今年度女子団体では東京都高等学校秋季剣道大会ベスト16、東京都国公立高等学校剣道大会準優勝という成績を収めました。

今年こそ念願の関東大会出場を目指し、文武不岐の精神のもと「打って勝つな、勝って打て」を基に基本を大切に強く正しい剣道を意識し、一人一人が目標を達成するために何をすべきか考え、実行し、お互いに切磋琢磨し稽古に取り組んでいます。部員全員で一丸となり、これからも精進していきます。機会がありましたらぜひ稽古にいらしてください。

第21回 寄付金一覽

平成29年1月～平成29年12月末日

会計 墨田川15回 谷澤 尚樹

今期は六十五名の方々と二団体からご寄付をいただきました。収入合計金額は百五十万二千二百九十一円になりました。ご協力ありがとうございました。今回も百万円を(財)七星会へ、三十万円を母校の活動支援に寄付させていただきました。寄付口座の残金は四百三十五万六千七百三十三円になります。

お礼と共に報告申し上げます。又、特に毎回寄付していただいている方につきまして、重ねて感謝申し上げます。今後共、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

府立第七中学校

第15回

十五回生会

都立第七中学校

第18回

恵畑 欣一

第20回

内田 勝久

飯岡 雄四良

大木 善夫

第23回

斎藤 淳

荒川 博

都立第七高等学校

第1回

本間 三夫

牛山 淳一郎

長谷川 鉄夫

都立墨田川高等学校

第3回

須藤 健児

第4回

大木 一郎

第6回

井上 常一

第8回

須藤 健児

第10回

大木 一郎

第13回

井上 常一

第15回

須藤 健児

第18回

大木 一郎

第21回

井上 常一

須藤 健児

宮田雄次

第8回

増田 峰夫

第10回

泉妻 秀一

第13回

藤沢 喜一

第15回

関村 克亨

第18回

竹野 迪夫

第21回

佐野 迪夫

第23回

新見 進

第25回

斎藤 尚

第28回

内田 忠男

新村 尚久

鈴木 克己

柴田 シゲ子

金沢 太一

三河 麟一

梶田 貞子

片野信弘

第10回

片野 泰子

第13回

比留間 光子

第15回

小原 千恵子

第18回

中村 博昭

第21回

三宅 正高

第23回

越智 信夫

第25回

山澤 一喜

第28回

富田 角次郎

第31回

永井 康子

第34回

吉川 章夫

第37回

荒井 尚徹

第40回

谷澤 尚樹

高橋 幸男

第18回

専田 三枝子

第21回

長塚 昌宏

第23回

塚越 健次

第25回

鴫田 耕一

第28回

有賀 康修

第31回

有賀 康修

(株)ココロライストジヤパン



編集後記

永年にわたり墨水会役員として、又広報委員長として母校の発展にご尽力されてまいりました清宮胖さんが昨年亡くなりました。ここに心からご冥福をおいのりいたしたいと思います。

本号の発行にあたり、寄稿いただきました皆様、御礼申し上げます。また、今後共寄稿、ご意見、ご提案などお寄せ下さいますようお願いいたします。

- 広報委員長 墨田川10回 難波 直人
- 広報委員 墨田川3回 井上 常一
- 〃 墨田川13回 横井 正男
- 〃 墨田川15回 竹鼻 宏子
- 〃 墨田川15回 加藤多恵子
- 〃 墨田川15回 谷澤 尚樹
- 〃 墨田川17回 清澤 健一

「墨水会だより」

第25号

発行：墨水会事務局

発行人：泉妻 秀一

編集人：難波 直人

墨田川高校内墨水会事務局

〒131-0032

墨田区東向島3-34-14

電話：03-3611-2125(代)

事務局代表：谷澤 尚樹